

第1回海外研修 解団式

第9日 3月12日（木） 富山 雪

小雪の舞う中、校長先生をはじめ、たくさんの先生方が正面玄関で到着を今か今かと待っていました。15時50分、お土産と思い出話をたっぷり抱えて、海外派遣生徒たちが一日遅れで学校に到着しました。

螢雪館ホールで解団式が行われ、校長先生から「この海外研修が次の海外研修の土台となる。アメリカでの経験を同級生や下級生にぜひ伝えてほしい。」とお言葉をいただきました。生徒を代表して理数科学科の炭谷君が「アメリカに行ったことで、日本の良さも欠点もわかり自分の意見を持てるようになった。経験をどのように活かしていくか、これからの私たちを見ていてください。」と語り、ひとまわり大きく成長した姿に感激しました。副団長の松倉先生からは「アメリカで本物に触れたことや、さまざまなアクシデントに遭遇したことは貴重な体験。これから何があっても対応できる生きた力が身についた。」と、8日間の成長と今後への期待を話していただきました。

昨日の雪の影響で予定より一日長い研修となりましたが、全員無事帰国しホッとしました。アメリカでの体験をこれからの学習、進路実現に活かしてほしいと思います！



ジェスチャーを交えて研修を報告



失敗も大切な経験でしたね。